西桂町 議会だより

第24号
平成11年6月16日発行

全世帯へ配付いたします。一部必ずお取り下さい。

平成11年4月30日就任、西桂町議会議員一同

平成11年3月 定例会

正副議長就任あいさつ	2
議会構成、議場紹介	3
一般会計当初予算・審査状況、賛成討論	4、5
町長所信表明、当初予算計上額一覧	6、7
一般質問（1名）・町長再選出馬を表明	10、11
議案と審議・2月18日臨時会	12、13
町議会議員抱負を語る	15

議会を傍聴しましょう

3階の議会事務局で受付していただくと、誰でも傍聴できます。

議会へのご意見・ご質問等は電話 0555-25-2121、FAX 0555-20-2015、Eメール gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

議会の議決が終了しました

付議された全議案は可決となりました

平成11年5月13日臨時会

不偏不党、公平無私の立場で町民の付託に応えたい

正副議長就任あいさつ

議　長
牛田　茂

副議長
宮下　友義

5月13日の臨時議会におきまして、議員各位のご推挙により第35代西桂町議会議長に就任致しました。誠に身に余る光栄に存じ感謝致しております。前田町長には提唱しております活・活西桂建設のための重点施策実現を致していく必要があり、議会は不偏不党、公平無私の立場を堅持しその役割を果たし、町民の付託に応える所存であります。

昨今の国内情勢は、長引く不況の中で政治的にも経済的にも大変難しい社会情勢であります。身近な問題としては、少子高齢化によるところの年金原資の不足から掛金負担の増加が懸念され、また来年度には介護保険が導入され、今年10月より介護認定の申請が始まるのに備え、町においても介護の必要度を審査・判定する「介護認定審査会」の設置へ向けた動きが本格化され、関係する職員の研修及び自治体間の調整が求められ、円滑な導入が望まれております。

一方、地方分権の推進を図る中で、富士北麓地域が真に活力ある地域づくりを進めるため、広域行政等の市町村体制整備について、私達議員は勿論、町民の皆様共々幅広い議論を重ね、意識啓発につなげる場づくりの研究も、町長の推薦により2年間勉強してまいりました。いずれ機会を得て、町民皆様に市町村の現状と課題をお知らせする所存であります。町民各位の絶大なるご支援と、ご協力を賜りまして、更に研鑽努力致す決意であります。何卒なお一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

去る5月13日の臨時町議会において先輩議員また同僚議員より、副議長の要職に推挙されました。その重責と使命の重さに、私自身驚きと共に、身の引き締まる思いでおります。

議長に就任された牛田茂氏には、議員経験豊かで人格見識共に優れ、実行力を兼ねそなえおり、そのもとで議会が公平かつ円滑に運営されますよう議長を補佐し、また今さら云うまでもありませんが、議会が地域住民の福祉と、住民の立場に立って、物事の判断をするよう、渾身の努力をいたす所存であります。

町民の皆様におかれましても、町議会といきいき西桂町の推進に、ご理解とご協力とをお願いいたすと共に、ご清栄を心よりお祈り申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

審議案件

【報告】 2件
承認4 専決処分事項の報告（西桂町税条例の一部改正）
○地方税法の改正に基づき条例改正するもので、施行期日の関係上専決処分とした。
承認5 専決処分事項の報告（平成11年度西桂町一般会計補正予算1号議定）
○町議会議員選挙の事務経費56万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を17億3千956万円とする補正予算である。支払期日等の関係上専決処分とした。
【選挙】 2件
西桂町消防委員会委員選挙
当選　石原　滋　議員
〃　高尾佐武郎　議員
富士五湖広域行政事務組合議会議員選挙
当選　小山　忠男　議員
〃　前田　憙信　議員
【同意】 1件
同意2 監査委員選任につき同意を求める
川村　俊夫　議員

5月臨時会日程

5月13日全員協議会
◇運営方法の協議
同日本会議開会
（臨時議長　小山忠男）
◇仮議席の指定
（着席中の議席を指定）
◇議長選挙

議会用語ミニ辞典

「指名推薦」とは？

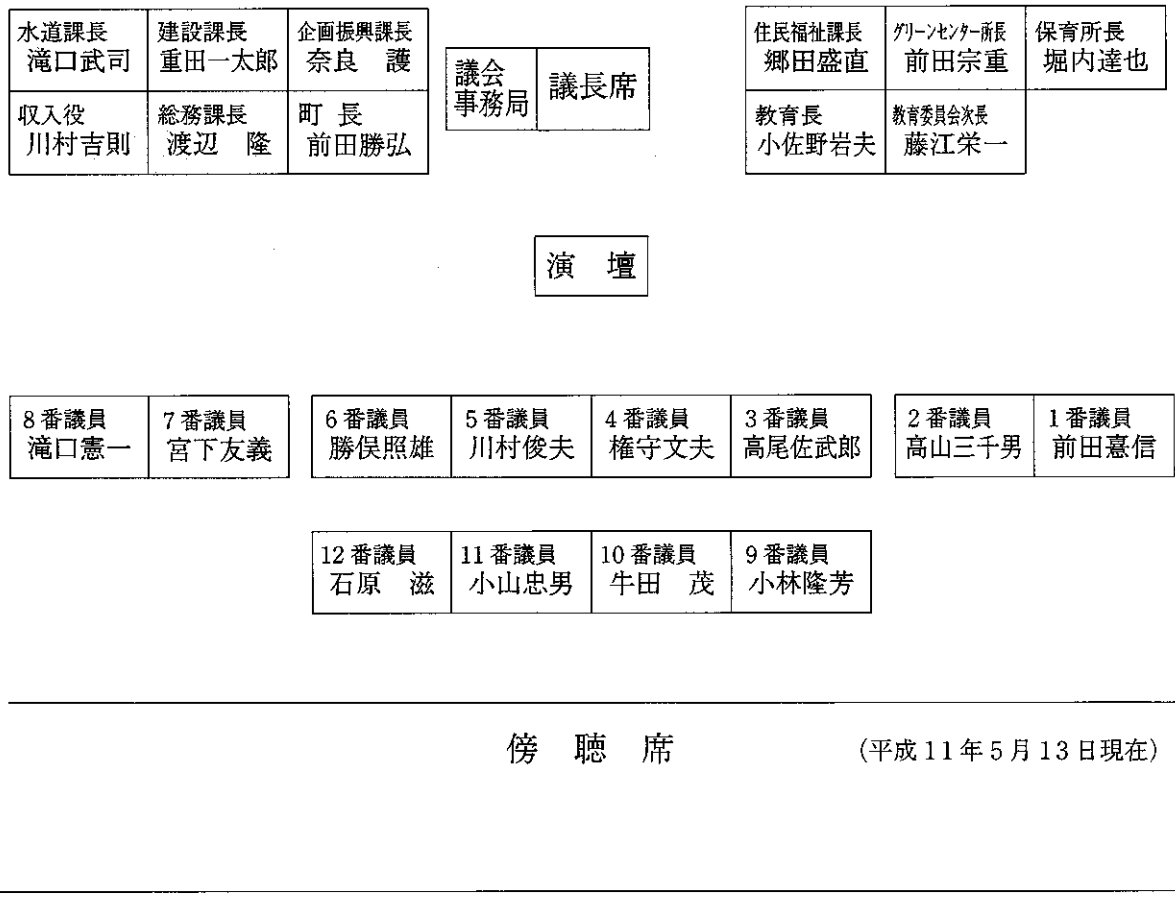
基本は投票による選挙で、指名推薦は例外措置。選挙方法は、①指名推薦の可否、②指名者の決定、③指名者より推薦された議員を当選とすること、以上3段階いずれも全会一致が原則である。円満人事を証明するもの。

西桂町議会構成一覧表

議長 牛田 茂	副議長 宮下友義
総務常任委員会	**建設文教常任委員会**
委員長 小山忠男 副委員長 高尾佐武郎 委員 石原 滋 権守文夫 滝口憲一 牛田 茂	委員長 小林隆芳 副委員長 勝俣照雄 委員 川村俊夫 高山三千男 前田憲信 宮下友義
総務、企画振興、住民福祉関係の調査・議案審査・請願陳情審査を行う。	建設、水道、教育関係の調査・議案審査・請願陳情審査を行う。
議会運営委員会	**議会広報編集委員会**
委員長 石原 滋 副委員長 滝口憲一 委員 高山三千男 小山忠男 小林隆芳	委員長 川村俊夫 副委員長 権守文夫 委員 勝俣照雄 小山忠男 小林隆芳

議場紹介

役場の3階には、町議会の活動の場「議場」があります。議会は町民に開かれています。傍聴をしてみませんか。

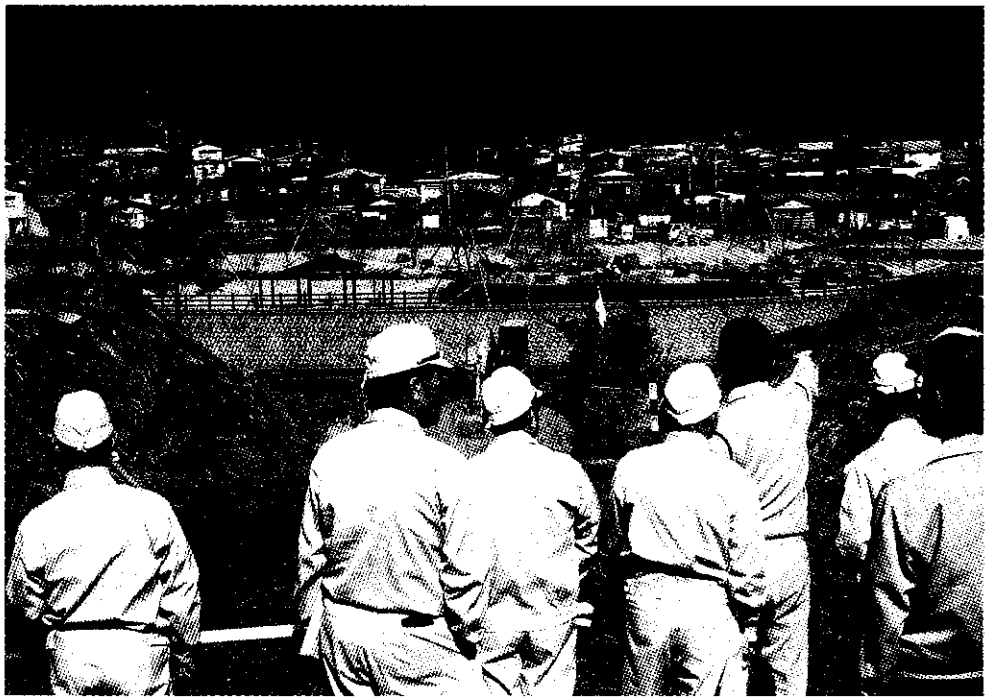


（平成11年5月13日現在）

（指名推薦）
（議長 牛田 茂）
◇議席の指定
◇会議録署名議員指名
◇会期の決定
◇副議長選挙
（指名推薦）
◇常任委員会委員の選任
◇議会運営委員会委員の選任
◇議会広報編集委員会委員の選任
◇消防委員会委員選挙
（指名推薦）
◇富士五湖広域行政事務組合議員選挙
（指名推薦）
◇町長議案上程（同意2）
説明・質疑・討論・採決
◇町長議案一括上程
（承認4、5）
一括説明・一括質疑
総務委員会付託
本会議休憩
（各委員会正副委員長互選、閉会中の委員会継続調査事項確認）
連合審査会
（付託議案審査）
本会議再開
◇付託議案総務委員長報告（承認4、5）
一括質疑・討論・採決
◇閉会中の委員会継続調査の申し出（総務委員会、建設文教委員会、議会運営委員会、議会広報編集委員会）
本会議閉会

平成11年度、小中学校インターネット教育整備

――役場インターネットによる情報発信・桂川公園4月開園――



桂川公園倉見側駐車場の造成現場を視察する町議会議員

平成11年度　各会計当初予算ほか全議案を可決

平成11年3月定例会・連合審査会

平成11年度　一般会計当初予算

問　特別減税による町税の減額は。

総務課　町民には勤め人が多いので、減税の効果が少ないように思う。

問　地方特例交付金について詳細を説明して欲しい。

総務課　地方税の恒久減税が実施予定で、その補填として国から交付される。

問　情報処理費の委託料の内容と来年度以降の状況は。

総務課　庁内ネットワーク機械の保守点検料、これからも機械がある限り必要な経費である。

納税組合補助金削減は

問　納税組合補助金が平成11年度0.5％削減している。平成12年度以降も削減していくのか。

総務課　県の指示もあるので、逐次削減を組合長と協議の上検討していきたい。

問　消防費の富士五湖広域組合負担金の増額理由は。

総務課　上九一色村の分遣所新設整備費ための負担金増である。

問　結婚相談所運営で、結婚相談の成果は。

住民福祉課　組織として1年経過しただけで、成果は上がっていない状況。今年は横浜でクルーザーによる交流会を近隣市町村との共同開催を実施した。

審議案件

［同意］1件

同意1　教育委員会の委員の任命につき同意を求める

教育長
小佐野岩夫

［報告］2件

承認2　専決処分事項の報告（平成10年度西桂町一般会計補正予算7号）

○農業基盤整備事業は、3月に事業の一部を発注する予定で、法律の規定により、翌年度に繰越事業とするため、繰越明許を行なう。

承認3　専決処分事項の報告（平成10年度西桂町下水道特別会計補正予算4号）

○下水道工事を翌年度事業とするため、繰越明許を実施。

［条例］8件

議案4　高尾碩弥文庫基金の設置、管理及び処分に関す

起債ゼロ、身のたけに合った予算

一般会計当初予算賛成討論

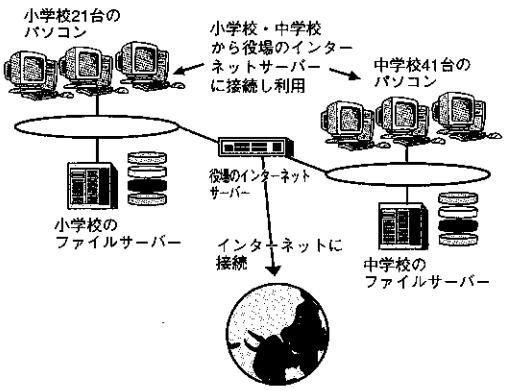
小林隆芳　議員

11年度一般会計予算について賛成討論を行う。予算は歳入歳出17億3千900万円が計上され、10年度予算に比べ3千600万円の減額予算である。主な内容は歳入では町税4億2千万円余りが確保の見込み、補助事業に取り組み財源確保に努めるものである。

町債はゼロという身のたけに合った事業展開で健全財政を保つ事は、画期的な予算である。当町の町債残高は約15億円で、県下市町村の中で3番目に低い。

歳出は10年度より三ツ峠グリーンセンター施設を農林業体験施設として位置づけ、今年度より都市住民との交流や特産品の開発に向けて取り組みを始める。生活環境整備の観点から電動生ゴミ処理容器購入助成を行う。また小中児童生徒のインターネット教育整備864万円を計上、併せて町の情報発信の経費864万7千円を計上する。

またフットサル場の夜間照明整備費470万円の計上、また桂川公園整備事業2千870万円の計上、12年度建設予定の吊り橋設計費903万円を計上する。



ホタル生息地を視察する町議会議員

三ツ峠クリーン作戦に参加する子供達

問　町で老人ホームへの措置助成はどの程度か。

住民福祉課　上野原町から富士吉田市間にある老人ホームに措置している。全体として3千188万7千円の措置費を助成している。

ポイ捨て防止看板を

問　河川の清掃、ポイ捨てゴミの回収を役場職員が行っている。何らかの看板を立て、住民の意識向上を図ってもらいたい。

住民福祉課　何箇所か設置していく考えでいる。不法投棄についてはより厳しい啓蒙を行っていく。

問　ダイオキシン対策は。

住民福祉課　富士吉田市焼却場の焼却温度は850度以上で、発生の可能性はないと聞いている。

町長　新施設はゴミを溶かす方法を取ると聞いている。

公園へ犬は入れない

問　桂川公園の犬の糞害対策として何らかの看板を設置するとか、啓蒙対策をとっていただきたい。

町長　桂川公園については犬を入れないような方策を取っていきたい。

問　シルバー人材センターの事業内容の説明を。

企画振興課　町では水道、軽作業、桜の丘管理委託等に人材センターを利用していく考えでいる。

問　昨年ホタルの数が少なかったが、原因は何か。

企画振興課　原因は大雪等で、他地域でも少なかった。

問　桂川公園の管理は。

建設課　今年度中に県と協定を交わす予定となっている。平成11年4月以降は町が管理し、管理経費は総務財産管理費に計上される。

問　小学校グランド整備等維持補修とは。

教育長　グランド整備、プール周り改修、体育館屋根補修、洋式トイレ改修、体育館補修である。

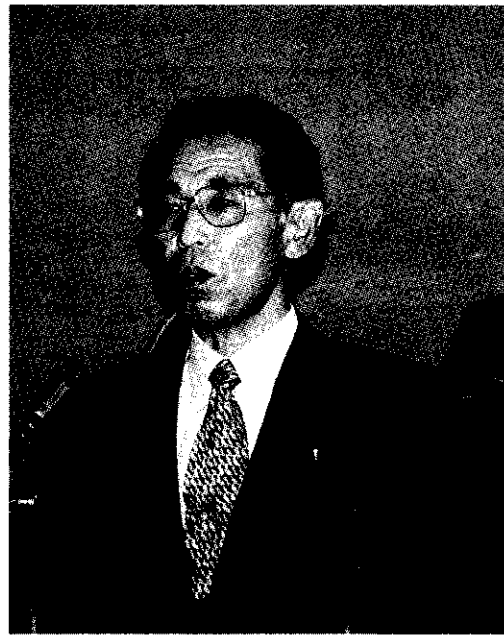
問　中学校維持補修工事は。

教育長　グランド・テニスコート整地、体育館放送設備、チャイム工事である。

○低金利施策の状況下、処分の関係条項を改正する。
議案5　前田正義文庫基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正
○議案4と同様の理由。
議案6　槙田邦夫文庫基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正
○議案4と同様の理由。
議案7　小山清二文庫基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正
○議案4と同様の理由。
議案8　槙田康文庫基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正
○議案4と同様の理由。
議案9　町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正
○法律の改正に伴う字句訂正。
議案10　町心身障害者福祉手当支給条例の一部改正
○議案9と同様の理由。
議案11　町心身障害児福祉手当支給条例の一部改正
○議案9と同様の理由。
【補正予算】7件
○平成10年度補正予算、別記
【当初予算】6件
○平成11年度当初予算、別記
【議員発議】2件
発議1　地方分権の実現に関する意見書の提出
○審査の結果、陳情4を総務委員会で採択したため。
発議2　地方分権の実現に関する決議書の提出
○発議1と同様の理由。

友好都市を検討

平成11年3月定例会



経済情勢は、長引く景気の低迷から抜け出そうと、官民あげて景気回復に懸命の努力をし、経済界全体に活気を呈することを期待するものであります。また廃棄物の焼却場から出されるダイオキシン問題の解決には、ゴミを出す側の意識改革とリサイクル化、及び焼却機の高度の改良等により、環境にやさしい意識形成に努めたいものであります。

では活活西桂建設のための重点施策から10年度中の事業執行状況を申し述べたいと存じます。

◎県道富士吉田西桂線は

地元の意向を反映させるための道路建設相談委員会運営事業では、地元地区からもうしばらく時間をいただきたい旨の申し入れが町にありました。時期がきましたら、再度、地元地区及び議会に相談していく考えでおります。

◎下水道事業の進展

住民の皆様のご理解とご協力により、公共下水道の管渠布設工事も順調に進捗し、第4処理分区においては、約68%の面整備が済み、残りは主に国道部分で、平成11、12年度で、完了見込み、12年度より第3処理分区の倉見地区内に入る予定となります。

◎産業振興・農林業振興

産地形成化推進事業では農業委員会、リンゴ研究会・生活改善グループ紬会・みつとうげそばの会・みつとうげ手織りの里グループ、大豆の会等、各事業の団体の取り組みに支援していきたいと考えております。

商業の活性化では、地域振興券交付事業の実施により、地域の商店に活気が生まれるものと期待を寄せているところであります。

林業振興に関しては、11年度より、県事業によるだるま石上流に堰堤が建設され、併せて憩いの森付近河川の反対側に環境整備事業として、広葉樹の植栽が実施される予定であります。

5年間で三ツ峠グリーンセンター整備
新高区に水道新水源地を確保

前田町長所信表明

◎総合行政システム化事業

平成9年度に全事務職員にパソコンを配備し、ハード環境を整え、10年度印鑑登録証明のカード化を実施、今後も行政サービスの向上を図り、より効率的な行政運営を目指していく所存であります。

◎桂川公園整備事業

倉見側駐車場用地取得につきましては、予定した用地が関係地権者のご協力により取得され、現在用地の造成工事を施工しております。

◎三ツ峠地域就業機会創出緊急特別対策事業

5年間で町営三ツ峠グリーンセンターの施設整備を実施します。9、10年度、桜の里づくり事業、農村公園より憩いの森までの登山道沿いに桜植栽を実施し、一部の桜は開花し、好評であります。

仮称西桂町農業活性化推進協議会を発足させ、グリーンセンターの健全な運営を目指し、これを拠点に各種事業を展開し、農業委員会及び各種団体の協力を得て、地域住民と都市住民との交流により町の活性化を図ってまいりたいと考えております。

◎簡易水道新水源地

住民の生活水の更なる安定供給をめざし、新高区配水池の建設予定地において、地下100mまで試掘いたしましたところ、60m付近下で豊富な水量が確認され、水質についても水道水に適する旨の報告がありました。

中国桂林市との

平成11年度 各会計当初予算計上額

会計名	予算総額	前年度との比較
議案15 一般会計	１７億３千９００万０千円	３千６００万０千円の減
「小さな予算に大きな仕事を」所信として行政ニーズに対応していき、経費節減に創意工夫を重ねた。需用費、旅費を各施設と担当課で努力し、備品購入、工事関係は計画性を重視、効率的な財政運営を図った。補助金については行政効果を勘案して計上した。 歳入については補助事業に取り組み財源の確保に務め、結果として地方債は当初予算ゼロ計上となった。		
議案16 国民健康保険特別会計	２億８千９６６万４千円	４１５万７千円の増
平成11年1月末の被保険者数1千846人に対し医療費の支払いと保健衛生活動を行う。医療費の支払実績は安定しているものの老人保健拠出金が若干増加したため、若干の増額予算となった。今後基金への積立を図っていきたい。		
議案17 老人保健法特別会計	２億８千１０９万０千円	３千１５６万７千円の増
主に70歳以上の受給者は平成11年1月末580人と、昨年度より33人の増加である。受給者が増加し、医療費の支払が伸びてきていることから、実績に基づいて増額予算となった。		
議案18 グリーンセンター特別会計	３千１６４万３千円	１９８万７千円の増
歳入については予約状況、平成10年度実績とともに、新規事業であるフットサル利用客による伸びを見込んだ。一般会計からの繰入金は、昨年度当初より212万7千円減の987万3千円である。		
議案19 簡易水道特別会計	６千８４９万９千円	４９３万０千円の増
歳入については、水道使用料4千104万5千円を計上、一般会計繰入金は479万4千円増の2千623万4千円を計上、主な事業は漏水調査委託235万5千円、各施設の点検費用400万円、水道管布設工事2千103万円を計上する。		
議案20 下水道特別会計	３億４千７８３万８千円	６千６８１万７千円の増
歳入については、国庫補助金8千万円、一般会計繰入金8千643万6千円、地方債1億8千140万円を計上、桂川流域下水道建設負担金1億38万7千円、町公共下水道事業については、柿園地区国道を掘削予定で、交通渋滞を考慮し夜間工事も予定する。		

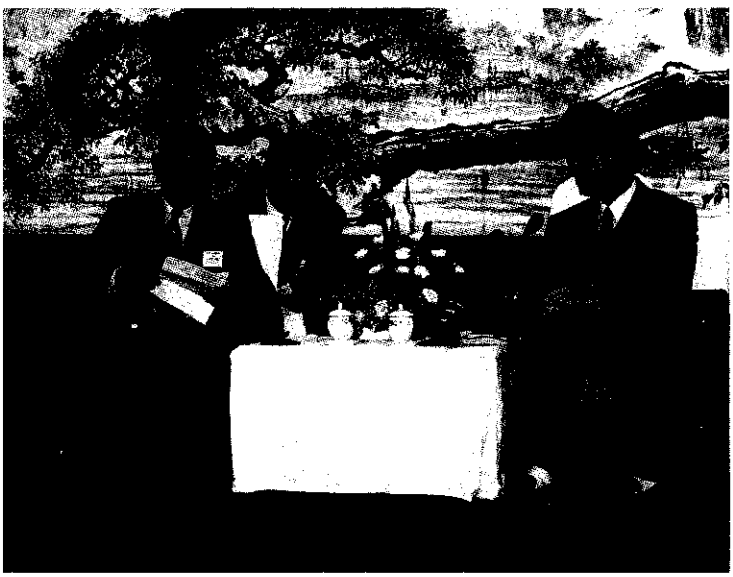
これらの資料をもとに5月に北富士演習場関連の障害防止対策事業へ取り入れるよう概算要求を提出する予定であります。

生涯保健対策

社会福祉協議会に委託しているデイサービス及び保健事業を12年度から開始する介護保険制度の実施に当り、10年度1人であったホームヘルパーを2人にして介護体制の強化を図っております。

ボランティア活動

社会参加人材育成を図り、11年度の展開として環境浄化意識の高い人材を育てるため、富士山クリーンキャンペーン及び桂川クリーンキャンペーンを実施、広報・回覧での啓発により、町民の環境に対する意識の高揚を図り、多くの町民の積極的な参加を切望するところであります。



5月25日、桂林市人民政府を表敬訪問
（左側：西桂町長、右側：桂林副市長 陳 路旺さん）

青少年非行防止に向けて

たくましい西桂っ子の育成を目標に、青少年非行防止対策として、教育委員をはじめ青少年育成町民会議の協力を得て、青少年を対象に健全育成思想の啓発と育成活動の推進を図ってまいりたいと存じます。

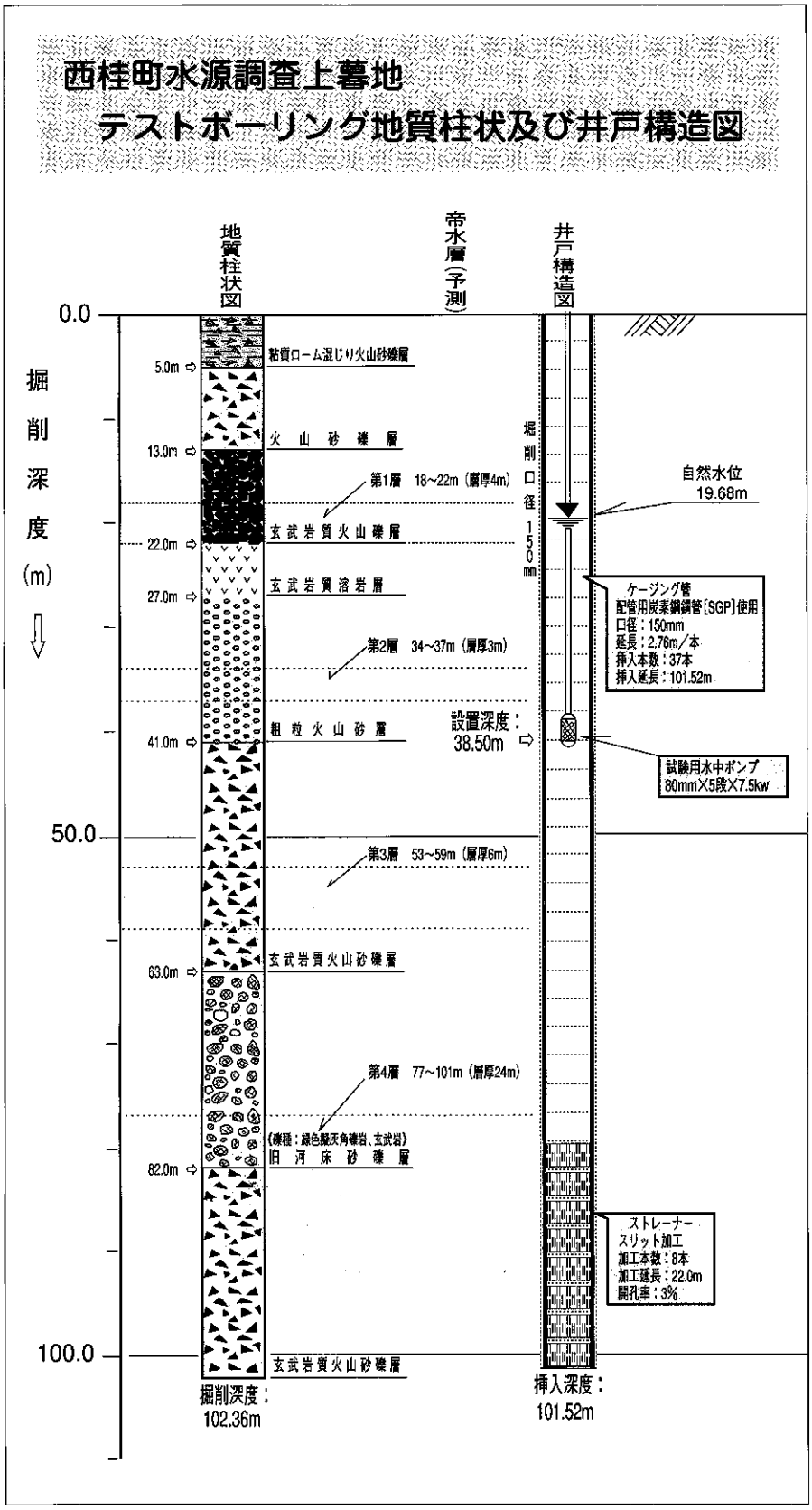
桂林市との国際交流

活き活きとした個性ある文化の香る町づくりのため、国際交流を視野に入れた住民レベルでの交流が必要と考え、山紫水明の地であることと地名の共通性から、中国桂林市との友好都市の検討をしているところであります。

相互交流のなかで異文化に触れ、様々な経験を積み、文化教養を高めることは、住民に活気が生まれ、活き活きとしたまちが形成されることになると考えております。

(調査内容) 新高区配水池予定地試掘調査について

(調査結果) 水道水は十分な水量の確保が図られる



本件はおおむね適正に処理されていることを確認した。

委員より「充分な水量と適正な水質の地下水が確保できたのだから、新高区配水池設置に向けて事業を早期に進めてもらいたい。」との意見が出された。

水道課概要説明　富士北麓で涵養された地下水を富士吉田市上暮地字米倉地内で掘削、深度101・52m、口径150㎜にて試掘した。結果、揚水量、毎分1トンを記録した。

問　試掘の結果、従来の高区との水質や量の違いは。

水道課　従来の高区と水質については、ほぼ同じで、水量は1日約3千トンと十分な量が予想される。

問　採取地は富士吉田市地番の土地であるが、行政間での協議と近隣の水道利用者との協議は大丈夫か。

水道課　近隣の水源地の水脈は深さ30メートルで、当町と水脈を異にしている。行政間の協議は済んでいる。

問　水脈の汚染の心配は。

水道課　一番深い所より採取するのでほぼ心配ない。

問　試掘や本工事の井戸の掘削方法は。

水道課　試掘は空気の圧力により穴を空けていく工法、本工事はネジのように地面に刺し込んでいく工法。

問　推定水量の算出方法は。

水道課　5キロの圧力を加えて取水を続けたが、自然水位地下19・68mから90㎝しか下がらず、かなりの水量が噴出している。

問　四つの層の水脈の何処から水道水を採取するのか。

水道課　80mの最深部に水中ポンプを設置する。

平成11年度予算の主な事業
活・活西桂建設のための重点施策

事業名	概要	予算（単位：千円）
基盤整備		
道路体系の整備	三ツ峠２号線土留設置、三ツ峠２号線コンクリート舗装、富士見橋橋台補強（新規）	2千040万0
下水道の整備	公共下水道管渠布設（柿園地区・第４処理分区内、国道沿い及び町道）、実施設計・認可設計委託、補償費	1億9千776万2
生活の基盤整備	ゴミ収集委託、資源ゴミ回収委託、粗大ゴミ最終処分委託、ペットボトル処理、電動生ゴミ処理容器補助（新規）、ＥＭ菌用生ゴミ処理容器補助、ゴミステーション設置改良補助、生ゴミ処理ボックス補助	1千540万7
産業振興		
農林業の振興	共同農園整備・貸付、そば打ち体験、農産物コンテスト（新規）、生活改善グループ紬会助成、ジャガイモ・サツマイモ掘り体験（新規）、そば蒔き・鱒つかみ取り・木工体験（新規）、ホタル祭り（新規）	215万7
商工業の振興	商工会補助、織物協同組合補助、みつとうげ手織の里クループ補助	865万0
環境整備		
防災対策の充実	災害時緊急トイレ整備（新規）、備蓄用ミネラルウォーターの配備	141万8
自主防災組織の育成	親子防災教室（東京の防災センターの見学）	24万0
防犯対策の充実	防犯灯設置工事（区要望分）	182万0
交通安全対策の充実	交通事故未然防止のためのカーブミラー設置等、	145万2
行政運営の機能化	総合行政システム化事業（税のシステム、給与システム）、インターネットによる情報発信（新規）	2千642万6
福祉充実		
レクリエーション施設の充実	三ツ峠周辺整備事業（フットサル場利用者拡大（新規）・グリーンセンター施設用地整備（新規）・桜の里管理（新規））・桂川公園整備事業（倉見側駐車場造成（新規）・倉見側橋梁設置（新規））	5千454万3
水道安定供給	倉見中央道南２号線配水管布設（新規）、柳溝線浅間団地周辺配水管布設（新規）、国道139号線配水管布設（新規）、町内漏水調査（小沼）（新規）	2千068万5
生涯保健対策の確立	健康づくり、乳幼児医療費助成、その他保健事業	2千936万5
社会福祉の充実	社会福祉協議会へデイサービスセンター運営委託、各種在宅福祉サービス、一人暮らし老人を支えるための小地域活動、富士五湖広域シルバー人材センターの活用、桂コミュニティ植栽	4千208万6
人材育成		
町民主役の体制整備	ふるさと夏祭り	350万0
社会参加人材育成	ボランティアコーディネーターの設置	104万0
環境浄化意識の高揚	桂川クリーンキャンペーン、寿クラブ町内清掃、ＥＭぼかし講習会	11万7
教育文化振興		
文化交流の促進	大魔神のふるさと推進（新規）、「桂」が結ぶ友好の輪（新規）、趣味を学ぶ各種教室、社会教育学級、生涯スポーツ教室	616万4
青少年非行防止対策	児童館運営、放課後対策、町と地域団体の一体化した子育て支援社会の構築、青少年カウンセラーによる教育相談、青少年育成総合対策事業を実施する青少年団体への助成（新規）	688万6
個性ある教育の展開	小学校でのインターネット利用（新規）、中学校でのインターネット利用（新規）、ＳＳＣ事業（授業支援者）、英語助手の活用、母と子の食生活共同体験	1千152万3
平成11年度　配当事業経費　合　計		**4億5千164万1**

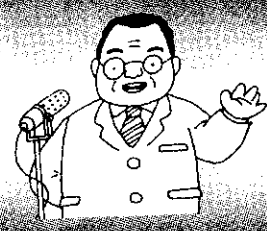
3月定例会日程

3日 議会運営委員会
◇運営方法決定
◇請願・陳情処理確認
10日 全員協議会
◇議会運営確認
本会議開会
◇会議録署名議員指名
◇会期の決定
◇町長所信表明
◇町長議案一括上程（承認2、3、議案4～22）
一括説明・一括質疑
各常任委員会付託
◇休会議決
本会議散会
連合審査会
◇付託議案審査
17日 連合審査会
◇町内現場視察
総務委員会
◇陳情案件審査
（陳情4）
建設文教委員会
◇所管事務調査
◇陳情案件審査
（陳情3）
18日 全員協議会
◇議会運営確認
本会議再開
◇付託議案総務委員長報告（承認2、議案4～14）
一括質疑・討論・採決
◇付託議案建設文教委員長報告（承認3、議案

⇦ 14ページへ続く ⇦

いっぱん 質問

町政を問う　ここが聞きたい!!



問 車と歩行者の安全のため町道宮下中野線の拡幅を

答 関係地権者、下暮地区の協力を得て、整備に取り組む

永田富幸 議員

問　町道宮下中野線は、下暮地ユニシア工場裏より中学校裏を経て富士急行線の踏切まで、全長1千173mの行程である。特に中学校裏からの道路幅は3・5m以下が大半であり、この地域で生活する人達の通勤通学路としての生命線とも言える大事な道路である。最近、国道の渋滞によりこの道路を利用する車が増加し、道路幅の狭い所では歩行者の通行も困難と見受けられる。

車と歩行者の安全を図るために、道路の拡幅または待避所設置計画があるかどうかを伺う。

町長　中学校裏から富士急行線の踏み切りまでの間については、町営中野団地を控えており、道路拡幅をする必要性を十分認識しているところである。

平成11年度の下暮地地区要望において、当該道路の拡幅の要望があり、町の回答として、区役員及び地元議員のご協力により用地の確保に取り組んでいただきたい旨の回答をいたしたところ、下暮地区長より、地区の議員に相談をし、用地交渉に当たるとの積極的な申し出があった。町としては、区と歩調を合わせ、道路拡幅に努力したい。

用地交渉の結果、道路沿線の方々のご協力が得られれば、平成12年度以降、町としても調査費を計上していく考えである。町の基本的な道路計画とすれば、待避所は考えずに道路拡幅の一本で行きたい。車道幅員5・0m以上を確保すれば、車のすれ違いも出来、通勤通学の交通安全対策が図られるものと考えている。

道路拡幅に困難な箇所もあり、将来、富士急行線の踏み切り拡幅等の難しい問題も念頭にいれておき、関係地権者及び地元地区のご協力をお願いする。

登山道を確認する県職員と役場担当者

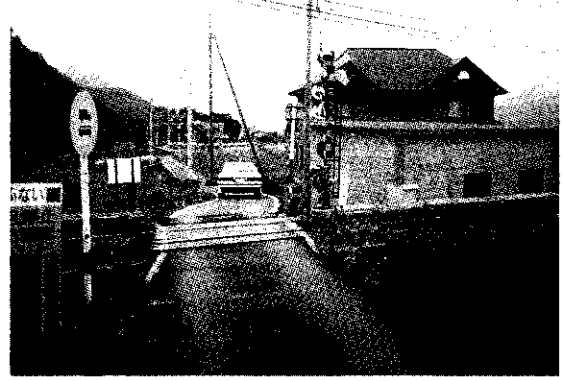
問 三ツ峠登山道の改修工事を

答 農村公園から頂上まで整備のため国・県に対し強力に陳情をした

問　三ツ峠登山道の改修工事を県単事業で、だるま石からの登山道はもとより、八十八大師からの登山道横道は台風による崩壊のため、危険個所がある。凍結期では登山道からの滑落事故も年に2・3件あると聞いている。三ツ峠も安全に気軽に登山が出来れば登山者が増え、三ツ峠が活性化されると思うが、今後の計画をお尋ねする。

町長　三ツ峠登山道については、数ケ所登山道として好ましくない状況下であることは認識している。三ツ峠の豊かな自然と美しい景観を保持し、地域住民等の潤いと安らぎを提供する場、また観光客・登山客の安全対策等を図り、町の活性化を推進していくため、農村公園から三ツ峠山頂までを整備する考えでいる。

現在国の補助を受けて登山道の整備ができるよう、県に対し国と協議を実施していただくよう、強力に陳情をした。



町道宮下中野線の現況

あなたの請願・陳情は

採択となりました

陳情4　「地方分権の実現に関する意見書」等の提出

継続審査となりました

陳情3　30人学級を柱とする次期定数改善計画の策定をもとめる請願（陳情扱い）

審査見送りとなりました

陳情1　「定住外国人の地方参政権」付与に反対する陳情

陳情2　「定住外国人の地方参政権」付与に反対する陳情

10年度 主な補正予算計上

中学校整備基金積立として5千万円を予算計上

会計名	補正額	補正後の予算総額
議案23　一般会計8号補正	△1千221万5千円	22億1千963万4千円
○平成11年度への繰越明許費補正　85万9千円 介護保険システム整備事業のうち一部委託料の50万円と負担金の35万9千円について繰越明許費の手続きをとる。		
○三ツ峠周辺整備事業工事請負費追加　472万4千円 ミニサッカー場の造成工事費の確定により減額、大沢遊歩道の整備事業費の追加。		
○中学校費積立金の追加　5千016万9千円 中学校建設基金への積立のうち利子を差し引いた分として、5千万円を積み立てることができた。		
議案12　国民健康保険会計2号補正	291万9千円	2億9千388万2千円
○財政調整基金積立の追加　600万0千円 現在基金残額は3千563万6千円であるが、追加後は4千163万6千円とするものである。		
議案13　老人保健法会計2号補正	315万0千円	2億8千320万2千円
○医療給付費の追加　240万3千円 追加後の医療給付費を2億7千315万6千円とするものである。		
議案14　グリーンセンター会計3号補正	△256万1千円	2千807万1千円
○事業収入の減額　△434万8千円 事業確定に伴い宿泊料、テニスコート使用料、水販売収入のそれぞれを減額する。		
議案21　簡易水道会計3号補正	△67万8千円	7千634万7千円
○事業費確定による減額　△68万8千円 水道管理費及び水道維持費の事業確定に伴う減額。		
議案22　下水道会計5号補正	4千793万4千円	4億0千602万2千円
○桂川流域下水道建設負担金追加　5千267万6千円 国の第3次緊急経済対策に伴う事業費の追加。		
議案24　地域振興券交付事業会計1号補正	△293万3千円	3千014万1千円
○振興券交付費の減額　200万0千円 当初、想定交付対象者数1千500人、交付額3千万円であったが、調査をする中で100人減の1千400人ということで2千800万円となる。		

問　多くの継続事業を抱える現状で御自身の任期に対するお考えは

答　町民各位のご理解をいただき、引き続き行政担当すべきと決意

問　活・活西桂、平成11年度重点施策についてお尋ねする。

山積する継続事業の遂行、提案された新規事業の推進と平成11年度重点施策の事業展開をなされる時、行政の一時的な停滞は町民として受け入れられるものではない。

前田町長におかれては「小さな予算で大きな仕事」を所信とし、現在の行政ニーズに対応し、町民の代表として牽引的な役割を果たし、役場職員への強力な指導を行なおうとするお考えのようであるが、御自身、平成11年7月に任期を迎えるいま、どのようなお考えをお持ちなのか。

4年間の事業実績を踏まえて、その意思はどうかとのお尋ねであるが、私は「活・活西桂の建設」の提唱をし、住民誰もが福祉・医療・文化・教育・産業・社会基盤などあらゆる分野において、心の豊かさを実感し、住民一人一人が活力に満ちあふれ、すべてがバランスよく持続的発展を遂げている社会を構築し、町民総参加のもと、企業的経営感覚を失わずに実行に務めてきた。しかし行政施策の推進を図るためには、議員、町民各位のご理解が必要であり、ご意見も拝聴するところである。

私としては誠心誠意、進むべきものとし、質問の趣旨は、謙虚に受け止めて、引き続き行政担当すべきものとし、決意を新たにいたしたところである。

町長

三ツ峠グリーンセンターに農業体験施設を建設

――ログハウスと水車小屋も建設・ソフト事業のための基金積立――

付議された全議案は可決となりました

平成11年2月18日臨時会

平成10年度　一般会計6号補正予算

問　グリーンセンターへの一般会計からの繰入金増が危惧される。平成11～14年度までの増収想定は。

グリーンセンター　11年度からの増収分は、フットサル利用客約年500人増と見込んだ。宿泊棟と食堂関係で1人平均6千円、年約300万円の増、フットサル場使用料で年約100万円を見込む。

問　多くの方にボランティア銀行へ登録していただき、商工会あるいは農業関係の人たち、そういう人たちの参加を高める必要がある。

企画振興課　仮称「西桂町農業活性化推進協議会」を組織中で、協議会に参加予定の外郭団体をとおし、活性化を図って行きたい。

問　ソフト事業の計画は。

企画振興課　企画振興課内で検討中のものは、農業体験交流、ソバ打ち加工施設を作る。また都市住民の方に町へ来てもらい農業体験、登山、フットサルも利用してもらう。毎月のフットサル大会等計画、1反歩程度の休耕田を利用して、都会の人達や地元の子供たちに農業を楽しんでもらう。商工会青年部の大魔人も役立てたい。中山間地域基金を4年間で取り崩し、ソフト事業に役立てたい。

問　施設が整備されたら、外郭団体と十分に協議を重ね、運営を農業諸団体等に任せる方向で進んだら。

町長　私も前からグリーンセンターを第3セクターでやっていきたいと考えている。1年か2年くらい様子を見て運営が軌道に乗りそうだという時に、ボランティアの参加、女性や年寄りの方の働く意欲がでるような職場にしていきたい。

　しばらくは役場の職員で、利用客が訪れる様にして引き渡した方が良いかと思う。

問　工事費600万円は。

町長　グリーンセンター入り口の使用していない建物を解体し、そこで水車、そば道場、体験道場を行なう。このための解体処理費用。

社会人大会を開催、三ツ峠フットサル場

(協議内容)国庫事業による三ツ峠グリーンセンター施設整備について

(協議結果)事業執行にあたって議会との協議を重ね、慎重に行うこと

企画振興課概要説明　今年1月、国の内示を受けた。平成10年度事業として、補正予算を3月定例会に提案し、繰越事業として11年中の完成を目指したい。また1千500万円の基金の造成し、基金をソフト事業に使用する。

解体工事・土地購入・フットサルの夜間照明設置は町単事業となる。解体工事については、現在のグリーンセンター建物を壊していきたい。土地購入は隣接地を購入してログハウスを建設したい。展示室も作る。テニス場の2面を取り壊し、管理棟の敷地とする。

問　体験学習、高山良策展、農業体験場、農業振興等、事業効果の見込みは。

町長　都市住民との交流、スポーツ愛好者に利用していただく。効果についてはかなり有ると予想される。

問　農林業関係者によるグループづくりが大切では。

町長　行政主導も良いが、自主グループをバックアップする形で、応援したい。

問　都市部との交流にあたっては、何処の都市をターゲットにしているか。

企画振興課　府中市童謡の会、千葉市みつわ台童謡の会等、広く県外に求めて行く。

問　高山良策展の作品は寄付か、買取か。

町長　200点の寄付を予定している。資料館のメインにするが他の作品も置く。

問　平成11年以降の国・県の補助状況は。

企画振興課　平成10年度は国の補助事業、それ以降について農林業関係の国庫補助5ヵ年事業が有望であると思う。

問　民間のグループに委託することも必要であろう。

企画振興課　農業グループに業務を委託できるよう、事業を進めたい。

問　ログハウス等は、後日さらに増やして行くのか。

町長　平成11年度以降は国の補助事業等が付くかによって決めていきたい。

10年度 主な補正予算計上

三ツ峠グリーンセンター施設整備等に2億5千万円余を計上

会　計　名	補　正　額	補正後の予算総額
議案2　一般会計6号補正	2億6千796万5千円	22億3千184万9千円
○総合行政システム化事業　1千142万9千円 行政運営機能化のため介護保険関連の機械器具購入とシステム開発委託費を計上する。		
○農業基盤整備、農業振興　2億5千288万5千円 国の第3次緊急経済対策の補助を受け農業基盤整備費の新設、三ツ峠グリーンセンター施設整備関係経費と基金への積立金等を計上する。 施設整備としては、農業体験施設・ログハウス4棟・水車小屋の整備及びこれらに係る造成工事費等を国の補助を受けて実施する。また農業関係のソフト面での充実を目指して、中山間地域活性化推進基金1千455万円の基金積立金等を計上し、農業振興に取り組む。		
議案3　下水道会計3号補正	5千350万0千円	3億5千808万8千円
○桂川流域下水道建設負担金追加　5千267万6千円 国の第3次緊急経済対策に伴う国庫補助事業の追加分で、下水道管渠の布設工事を実施する。		

審議案件

【報告】1件
承認2　専決処分事項の報告（平成10年度西桂町一般会計補正予算5号）
○県知事選挙経費26万5千円の減額補正で、補正後の歳入歳出予算総額は19億6千388万4千円となる。

【条例】1件
議案1　西桂町中山間地域活性化推進基金条例の制定
○三ツ峠グリーンセンターの施設整備推進のため本基金を設置し、平成11～14年度の4年間で取り崩しを行い、ソフト面での利活用を図る。

【補正予算】2件
○平成10年度補正予算、別記

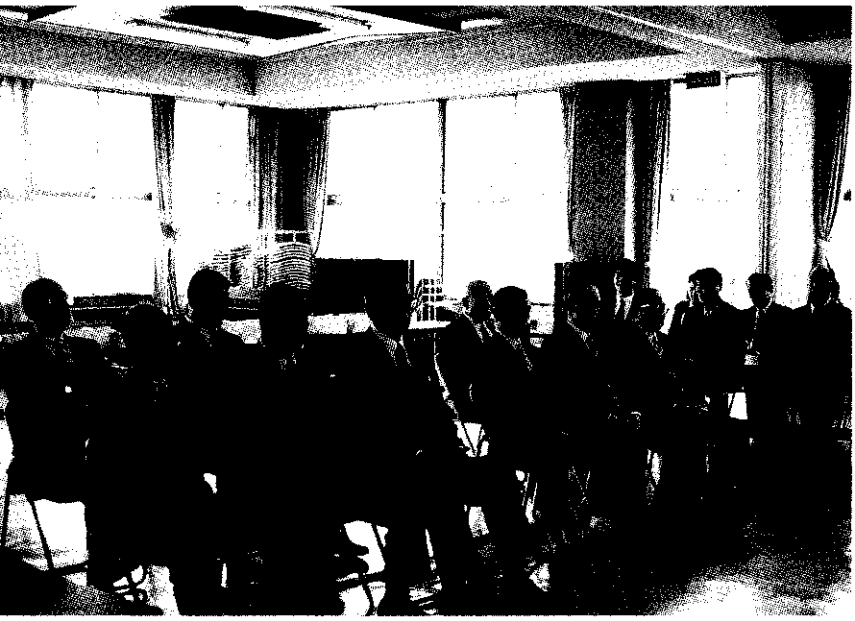
2月臨時会日程

2月12日議会運営委員会
◇運営方法の協議
18日本会議開会
◇会議録署名議員指名
◇会期の決定
◇町長議案一括上程（承認1、議案1～3）
一括説明・一括質疑
各常任委員会付託
本会議休憩
連合審査会（付託議案審査）
本会議再開
◇付託議案総務委員長報告（承認1、議案1、2）
一括質疑・討論・採決
◇付託議案建設文教委員長報告（議案3）
一括質疑・討論・採決
本会議閉会

4年間ご苦労様でした

平成7年4月30日就任、同年5月8日開催の5月臨時会から議会活動が始まり、平成11年3月24日開催の3月定例会最終日で本会議はすべて終了、同年4月29日をもって任期満了となりました。

足掛け4年に渡る議会活動大変ご苦労様でした。故前田議員におかれましては任期満了直前平成11年3月13日、病のため惜しくも他界されました。心からご冥福をお祈り致します。町では任期満了された各位の功績をたたえ、4月30日に感謝状贈呈式を開催しました。



任期満了の議員名

高尾　活弋
永田　富幸
滝口　憲一
渡辺英一郎
故　前田巳智男
小林　隆芳
高尾　嘉一
牛田　茂
梅原　啓一
石原　滋
小山　忠男

（議席順）

議会機能の強化に向けて 国会・内閣に決議書を提出

地方分権の実現に関する決議（抜粋）

政府は、今期通常国会に「地方分権関係法整備法案」を提出することとしているが、分権型行政システムへの移行は、地方公共団体の自己決定と自己責任の拡大を伴うものであり、議会本来の機能をより発揮することが求められており、地方議会の活発化は不可欠である。

政府・国会は、次の事項の実現方に万全を期されたい。

1　**議会の自主性強化**

（1）議員定数については、～略～条例に委ねること。

（2）臨時会の招集要件を緩和するとともに、議長にも招集権を付与すること。

（3）～略～1議員1委員会制の制限を撤廃すること。

2　**議会の議決権の拡大**

（1）市町村が議会の議決を経て定める「基本構想」を「基本構想及び基本計画」に改めること。

（2）地方公共団体が設立した公社及び出資法人等に対し、議会が直接関与できるよう改めること。

（3）予算審議を徹底し、政策論議を活発にするため、具体的な施策内容を明示した「目」を議決の対象にすること。

3　**議員の政策立案・審議能力の向上**（以下略）

以上、決議する。

平成11年3月24日

西桂町議会

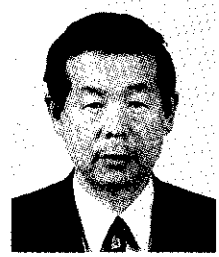
⇦ 9ページの続き ⇦

21、22）
一括質疑・討論・採決
◇町長議案追加上程
（議案23、24）
一括説明・一括質疑
総務委員会付託
◇休会議決
本会議散会
連合審査会
◇付託議案審査
24日全員協議会
◇議会運営確認
本会議再開
◇会期中の委員会事務調査報告
（建設文教委員会）
◇付託議案総務委員長報告（議案23、24、15～18）
一括質疑・討論・採決
◇付託議案建設文教委員長報告（議案19、20）
一括質疑・討論・採決
◇町長議案追加上程
（同意1）
説明・質疑・討論・採決
◇議員発議上程
（発議1、2）
一括説明・一括質疑
・討論・採決
◇一般質問（永田議員）
◇閉会中の委員会継続調査議決（総務委員会・建設文教委員会・議会運営委員会・議会広報編集委員会）
本会議閉会

町議会議員　抱負を語る

町民に開かれた議会を目指します

（正副議長は２ページに掲載）



前田憲信　議員

地方分権が進む中議会が地方自治進展の鍵を握っている。行政と住民の信頼関係を深め予算が適正に執行されているかどうか、又高齢化社会を迎え介護基盤の充実強化をし、自治体の情報公開も重要。より良い町の発展の為、町民皆様のご指導ご協力をお願いします。

勝俣照雄　議員

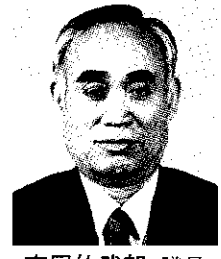
この度の町議会議員選挙には多くの皆様のご支援を賜り当選させて頂き心より感謝し、同時に責務の重大さをあらためて痛感する思いでございます。選挙時の公約である〝心と心のふれあい〟を忘れずにいきいきとした町創りに精一杯努力していく所存であります。

高山三千男　議員

この度の町議会議員選挙には、町民の皆様の多大なるご支援ご推挙により当選できました事をお礼申し上げます。町の活性化のため教育福祉生活関連対策等に取り組み、山積する多くの諸問題に微力ながら頑張る所存であります。住み良い町作りに全力を尽くします。

滝口憲一　議員

多くの皆様のご支援により、再度当選させて頂き心から感謝申し上げます。４年間の経験を生かして、教育、福祉、環境問題に真剣に取り組みます。特に町が進めている国の補助事業、三ツ峠グリーンセンター周辺整備事業を成功させるよう頑張る所存です。



高尾佐武郎　議員

新人議員として、人にやさしさと豊かな住み良い町作り及び町民憲章を基本理念として、地域住民の小さな声の代弁者・パイプ役として、町民各位及び先輩同僚議員のご協力ご支援のもと、議員としての役割を果たしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

小林隆芳　議員

４月の町議会選挙には町民各位のご支援を頂き再度当選させて頂き、身に余る光栄で心より感謝申し上げます。過去の経験を生かし議員相互に切磋琢磨し、開かれた議会活動が図れるよう積極的に推進して行く所存です。町民各位のご支援宜しくお願い申し上げます。

権守文夫　議員

町議選には町民皆様の多大なるご支援を頂き当選できました。誠に有り難うございました。小生浅学非才な身ですが、町推進の活々町興しを目指し、特に災害に強い町作り高齢化社会に対処した福祉の充実等に力を入れ、山積する諸問題に微力ですが頑張る所存です。

小山忠男　議員

町民皆様のご支援を戴き議員の重責を担う事になりました。町民各年代層の皆様との対話を重ね、議会の責務と議員としての使命を自覚し、西桂町の発展を願い高齢化福祉の向上と地域社会の活力づくりに専念していく所存ですので、宜しくご指導をお願い致します。

川村俊夫　議員

この度の町議会議員選挙には多くの皆様方よりご支援を頂き、当選の栄に浴し心から感謝を申し上げるとともに、責任の重大なることを痛感しております。明るく健康で住み良い町づくり、教育環境整備の振興等に、誠心誠意頑張りますので宜しくお願い致します。

石原　滋　議員

この度は町民の皆様から多くのご支援をいただき、心から感謝申し上げます。町民の皆様から寄せられたご支援に応え、住民福祉の向上の為、住民誰もがこの西桂町に生まれたことに喜びを、そして住むことに誇りが感じられる郷土作りの為、努力致してまいります。

議会のうごき

1月
21日○例月出納検査（前田議員）

2月
2日○農業構造政策推進会議（正副議長、総務委員、滝口議員）
24日○例月出納検査（前田議員）
27日○大正琴発表会（議長）

3月
1日○農業構造政策推進会議先進地視察（正副議長、総務委員、滝口議員、2日まで）
5日○国民健康保険運営協議会（総務正副委員長）
11日○中学校卒業式（全議員）
19日○小学校卒業式（全議員）
27日○保育所退所式（議長）

5月24日、中国人民対外友好協会を表敬訪問

5月11日議員研修、町内工事予定個所視察

5月16日開催、三ツ峠歩け歩け運動

5月30日、町民球技大会ソフトバレーの部開会式

4月
3日○保育所入所式（議長）
4日○ボランティア桜まつり（正副議長）
5日○小・中学校入学式（全議員）
15日○中学校PTA総会（議長）
19日○小学校PTA総会（議長）
30日○YLO会館運営委員会（議長、総務委員長）
31日○町社会福祉協議会理事会（正副議長、総務委員長）

5月
10日○町議会議員研修（全議員、11日まで）
16日○三ツ峠歩け歩け運動（全議員）
19日○商工会総会（正副議長、総務正副委員長）
23日○西桂町友好訪中親善使節団（川村、権守議員、27日まで）
27日○織協組合総会（議長）
28日○婦人会総会（副議長）
30日○町民球技大会（全議員）

編集メモ

町民の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

今まで町議会だより発行に際し、大変ご尽力されました前編集委員の皆様に深く感謝を申し上げます。この度議会広報編集委員が改選され、不肖私が委員長を仰せつかり、新しいメンバーにより、今日まで諸先輩が築いたスタイルを尊重しつつ、町民に読まれ親しまれる広報紙づくりに努力してまいる所存でございます。

議会だよりは、町民と議会を結ぶパイプとして重要な役割をもっており、議会審議の内容をつぶさに、しかもより早くお知らせすることが使命であります。

皆さん議会広報についてご意見等、お寄せ下さい。

委員長

編集委員長　川村　俊夫
副委員長　権守　文夫
委員　勝俣　照雄
委員　小山　忠男
委員　小林　隆芳

発行人／西桂町議会議長　牛田　茂　　編集／西桂町議会広報編集委員会